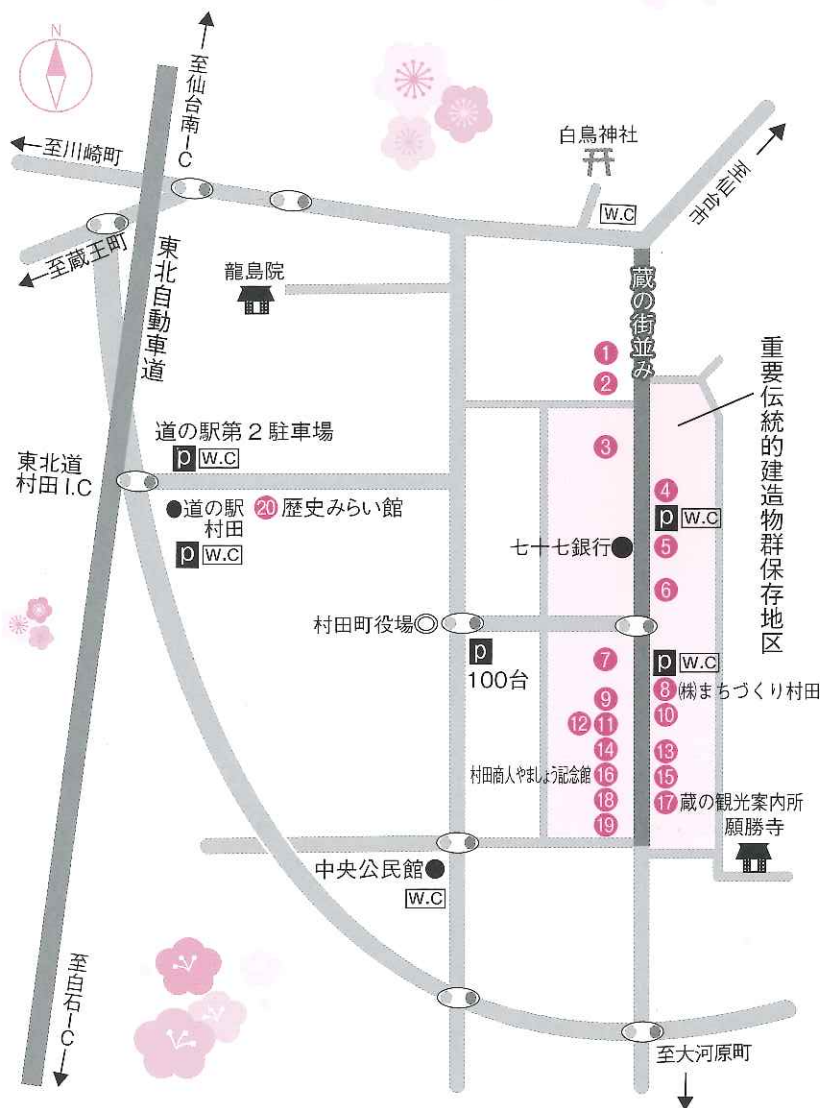


平成31年

まちや

# むらた町家の雛めぐり



## 雛めぐり会場

- ① ところやさとう (現代雛)
- ② 木村屋菓子店 (現代雛)
- ③ 寝具の升健 (享保雛・現代雛)
- ④ café 蔵人 (古今雛・現代雛)
- ⑤ 家具の店オオヌマ (現代雛)
- ⑥ 大沼酒造店 (享保雛)
- ⑦ 田専商店 (古今雛)
- ⑧ 株まちづくり村田 (現代雛)
- ⑨ 山専酒店 (古今雛)
- ⑩ 丸恵化粧品店 (現代雛)
- ⑪ 糍ダイニング藍 (現代雛)
- ⑫ カネマン (古今雛)
- ⑬ カクショウ (古今雛)
- ⑭ 大養 (古今雛)
- ⑮ かねしょう商店 (古今雛)
- ⑯ 村田商人やましよう記念館 (古今雛)
- ⑰ ヤマニ邸 (蔵の観光案内所) (現代雛)
- ⑱ 森家 (古今雛)
- ⑲ カネジュウ (古今雛)
- ⑳ 村田町歴史みらい館 (享保雛等)

村田町歴史みらい館

〒989-1305 宮城県柴田郡村田町大字村田字迫85 Tel.0224(83)6822 Fax.0224(83)6844

## イベント情報

- ① ところやさとう
  - ★琴・尺八の演奏会(随時)
- ⑨ 山専酒店
  - ★本町商店会による物品販売
- ⑯ 村田商人やましよう記念館・前座敷
  - ★羊毛フェルトストラップ作り【有料】(24日のみ)
  - ★瓦ストラッププレスレット作り【有料】(24日のみ)
- ⑰ ヤマニ邸(蔵の観光案内所)・主屋
  - ★着物着付け体験【無料】10時～13時(24日のみ)
  - ★クイズラリースタート地点(24日のみ)

## 村田の雛人形と「お雛見」

天保年間(1830～1843)より前、村田の雛祭りでは「土雛」が飾られていました。その後、大沼正七(現、村田商人やましよう記念館)が紅花販売のため京都に滞在していたおり、「練雛」を購入して村田に持ち帰ってから、「土雛」にかわって村田では「練雛」が広く飾られるようになりました。その年代は、弘化から嘉永(1844～1854)頃と推測されています。このことは、山田専助家(山専酒店)につたわる「雛人形箱」(村田町指定有形文化財)に記されています。「土雛」というのは、堤人形などの陶製の人形です。「練雛」の頭は、桐の木の粉を正麩糊でかため、貝殻を砕いた胡粉を塗り彩色したものです。

昭和三十年ころまで、村田町中心部では、子供達が家々に飾られた雛人形を見てまわる「お雛見」という行事がありました。子供達は、雛人形を見終わると、その家の人から紙に包んだ「キリコ」をもらいました。「キリコ」は、サイコロ状に切った餅を、焙烙で炒った素朴なお菓子です。